電源を選ぶ

本体後面

家庭用電源で使う

乾電池で使う

別売りの単2形乾電池6個を入れます。

ご注意

- 乾電池で使うときは、電源コードを本機から抜いてあることを確かめてください。電源コードをつないでいると、乾電池では使えません。
- 乾電池が消耗してくると、電源／電池ランプが暗くなってきます。乾電池をすべて新しいものと交換してください。

主な仕様

受信周波数　FM/TV : 76〜108 MHz (1〜3CH)
AM: 530〜1,629 kHz
アンテナ　FM/TV: ロッドアンテナ
AM: フェライトバーアンテナ内蔵

> 地上アナログテレビ放送は2011 年7 月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

トラック方式　4トラック2チャンネル ステレオ
周波数範囲　80〜10,000 Hz (JEITA*)
早巻き時間　約 2 分20秒(ソニーカセットテープC-60使用)
スピーカー　フルレンジ : 9.2 cm コーン型 3.2 Ω
出力端子　ヘッドホン(ステレオミニジャック)、負荷インピーダンス 16〜68Ω
実用最大出力　2.3 W + 2.3W (JEITA)
電池持続時間　(JEITA)

使用乾電池	FM録音時	テープ再生時**
ソニーR14P	約6時間	約4時間
ソニーアルカリLR14	約18時間	約12時間

電源　家庭用電源(AC 100 V、50/60 Hz)
単2形乾電池6個使用(DC 9 V)
消費電力　AC 12 W
最大外形寸法　約350 x 134 x 120 mm (幅／高さ／奥行き)(最大突起部含む)(JEITA)
質量　本体　約2.0 kg
ご使用時　約2.3 kg(乾電池、テープ含む)
付属品　電源コード(1)、取扱説明書(1)、ソニーご相談窓口のご案内(1)、保証書(1)
別売アクセサリー
ヘッドイレーサー・クリーナー HE-6C
クリーニングキット KK-41

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
* JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
** 音量7分目程度

故障かなと思ったら？

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

音が出ない

- 電源コードをしっかり差し込む。
- 乾電池を正しく入れる。
- 乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。
- ヘッドホンをPHONES端子から抜く。
- 音量を調節する。
- ファンクションスイッチを正しい位置にする。

雑音が入る

- 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。携帯電話などを本機から離して使用する。

テレビ放送が聞こえない。

- 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

カセットが入らない

- カセットを正しく入れる。
- ■⏏ 停止／取出しボタンを押して、◄ 再生ボタンを解除する。

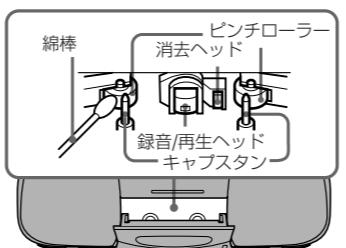
●録音ボタンが押せない

- デッキにカセットを入れる。
- 入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。

再生や録音ができない

- テープがうら面(►)の最後で終わっている。反転ボタンでおもて面(◄)にする。

再生、録音、消去の質がひどい

- ヘッドが汚れている。市販の綿棒や柔らかい布にクリーニング液を軽く含ませて、下図に示されているテープが触れる面を軽くふく。

- ヘッドが磁化されている。別売りのヘッドイレーサー・クリーナーを使ってヘッドを消磁する。
- TYPE II(ハイポジション)、TYPE IV(メタル)テープを使っている→録音できるテープはTYPE I(ノーマル)のみです。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機のスピーカーには強力な磁力を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
  - 時計
  - クレジットカードなどの磁気カード
  - カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- カセットデッキを長い間使わなかったときは、はじめに数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

大切な録音を守る－誤消去防止

ツメを折ると録音ができなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。穴をセロハンテープなどでふさげば、再び録音できます。

長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

SONY

3-810-932-06(1)

ラジオカセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

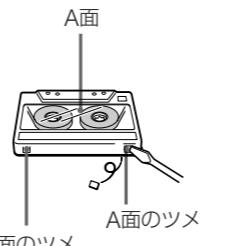
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CFS-E16

保証書とアフターサービス

保証書

●この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。●所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを　この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ　お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は　保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は　修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

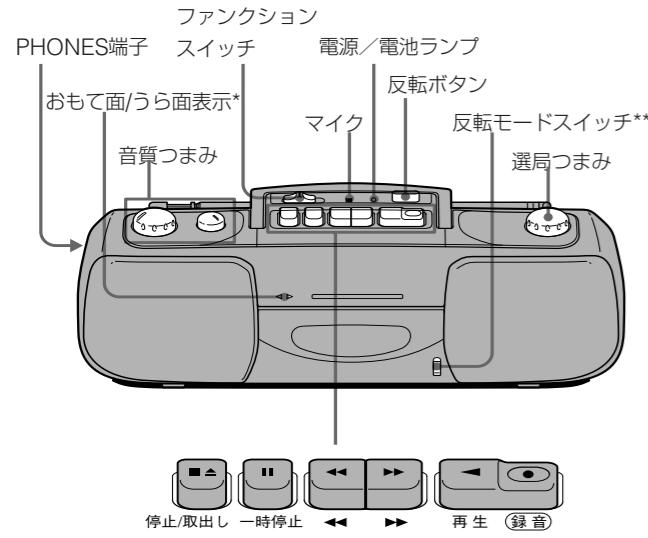
当社ではラジオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

お問い合わせはお客様ご相談センターへ
- ナビダイヤル…………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax ………………………… 0466-31-2595

受付時間：月〜金 9:00〜20:00、土・日・祝日 9:00〜17:00

http://www.sony.co.jp

各部のなまえ

* 再生する面は、おもて面/うら面表示で確認します。表示が ◀ のときは手前面(おもて面)、▶ のときは反対面(うら面)を再生中です。

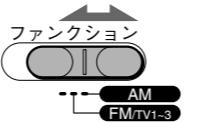
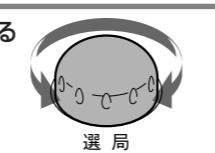
** 再生する面(片面か両面)を選ぶには、反転モードスイッチを切り換えます。片面を聞くときは⇄、両面を続けて(1往復だけ)聞くときは↩にします。また、両面を聞くときは手前面から再生を始めてください。反対面から始めると、スイッチが↩になっていても反対面だけの再生でテープが止まります。

録音についてのご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

ラジオを聞く

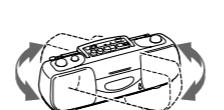
1 FMかAMを選ぶ

2 聞きたい局に合わせる

ラジオを消すには

ファンクションスイッチをテープ(ラジオ切)にする。

受信状態を良くするには

アンテナを調節する。

FM/TV

AM

AMアンテナは本体に内蔵されているので本体の向きを変えます。

ちょっと一言

ヘッドホンで聞くには、ヘッドホンをPHONES端子に差し込みます。

テレビ放送の受信についてのご注意

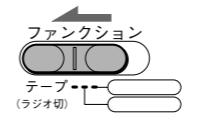
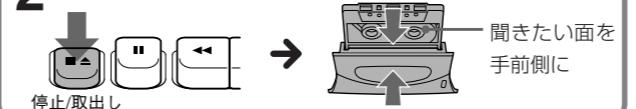
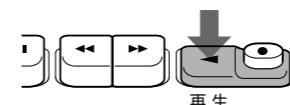
地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

ご注意

- テレビの近くでAM放送を聞くと、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。
- 本機のテレビ音声受信回路は、ＦＭ放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビの2または3チャンネルの音声を受信中、ＦＭ放送が混じって聞こえることがあります。その場合には、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

テープを聞く

1 テープ(ラジオ切)にする

2 カセットを入れる

3 ◀ 再生ボタンを押す

◀ 再生ボタンがすぐに戻ってしまうときは

テープがうら面(▶)の最後で終わっています。このときは反転ボタンを押して、おもて面／うら面表示をおもて面(◀)にしてから◀ 再生ボタンを押してください。

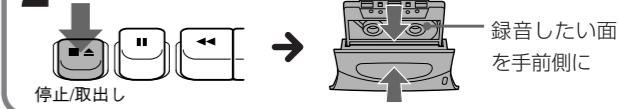
操作	押すボタン
再生を止める	■⏏ 停止／取出し テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。
反対面を再生する	反転ボタン
早送りや早戻しをする	▶▶、または◀◀
聞きたいところを探す	再生中に▶▶、または◀◀を押したままにして、聞きたいところで指を離します。
再生を一時停止する	❚❚ 一時停止 もう一度押すと再生が始まります。
カセットを取り出す	■⏏停止／取出し

TYPE I (ノーマル)テープをお使いください。

録音する

1 ラジオを録音するとき　録音したい局を受信する。

内蔵マイクから録音するとき　ファンクションスイッチをテープ(ラジオ切)に合わせる。

2 カセットを入れる

3 テープ走行の種類を選ぶ

テープ走行	スイッチの位置
両面に録音するとき*	↩
片面だけに録音するとき	⇄

*両面録音の場合は、手前面からスタートさせてください。

4 ●録音ボタンを押す

操作	押すボタン
録音を止める	■⏏ 停止／取出し テープを最後まで巻き取ると自動的に止まります。
録音を一時停止する	❚❚ 一時停止 もう一度押すと録音が始まります。

ちょっと一言

- 録音するときは、乾電池ではなく電源コードの使用をおすすめします。
- 音量や音質を変えても、録音される音は変わりません。

ご注意

マイクから録音しているときは、ヘッドホンで聞くことはできません。